フェニックス 西部小通信４月②

職員紹介

遅くなりましたが、平成３０年度の本校の職員を紹介いたします。前列の左から、東坂　多恵子（そよかぜ）、松岡　真理子（１・２年）、田中　正典（教頭）、米村　雄二（校長）、林　秀行（５・６年）、西嵩　明子（３・４年）、後列は、左から、堀　史佳（養護）、平松　不二男（庁務手）、山口　純子（給食事務）、志垣　誠（事務主任）、満潮　貴代（給食調理）、蓑田　里美（給食調理）です。なお、この写真には写っていませんが、江尻　早苗（学校図書館支援員、東陽小と兼務、火曜と木曜に来校）、ディーン・プラザック（ALT、毎週金曜来校）がおりますので、総勢１４名になる日もあります。鏡西部小学校の子どもたちと保護者の皆様のため、全職員一丸となって頑張りますので、今年度も一年間なにとぞよろしくお願い申し上げます。

交通教室

１２日（木）に実施しました。低学年は道路の歩き方・渡り方、３年以上は自転車の乗り方を教えていただきました。八代警察署や地域安全部会の交通指導員の方々や市役所の方々にご指導いただきました。今年も、ダミー人形がはね飛ばされたり巻き込まれそうになったり、落とされたヘルメットの中の豆腐（脳の代用、硬さが同程度）が守られたりするところを見せていただき、『自分の命はルールを守ることで守られる』ということを実感しました。学んだことを身に付けてほしいと思います。

避難訓練

１９日（木）、くまもと防災教育月間の取組として、初めての抜き打ち緊急地震避難訓練をしてみました。『休み時間に発生した地震に対して自力で身を守り、安全を見計らって約束の場所に集合する。』ことができるかどうか試してみたのです。実際に地面を揺らすことはできませんので、『地震防災避難訓練』用の地震の音と、その後の指示の放送が頼りでした。運動場西側の百周年記念碑のそばで遊んでいる低学年を運動場中央に誘導する６年生の姿などもあり、これまでの訓練の成果を発揮できた子どもたちもいたのですが、まずもって、その放送を聞いていない子どもたちもいたということでした。大切な指示を聞き漏らすと命に関わることもあるので注意してほしいと思います。